

# 盲導犬を普及させる会



ニュースレター  
写真で見る活動の記録

## 学校盲導犬講演（昭和学院小学校）

発行「盲導犬を普及させる会」  
〒271-0092  
千葉県松戸市松戸 1813-1-905  
TEL 090-8003-7790  
FAX 047-711-9988  
modokenfukyu.net@gmail.com



盲導犬を普及させる会 御中

拝啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、貴会の皆さんにおかれましては、本校の児童に向けた特別授業を実施していただき、誠にありがとうございました。盲導犬の役割や、視覚障がいを持つ方々の生活について直接学ぶ貴重な機会をいただき、子どもたちにとって大変有意義な時間となりました。

児童たちは、盲導犬とともに生きる方々の思いや、社会の中で助け合う事の大切さを深く感じ取ったようです。いただいた学びを、これから的生活の中で活かしていくよう指導してまいります。

つきましては、感謝の気持ちを込め、児童の感想文をお送りいたします。ささやかではございますが、どうかお受け取りいただければ幸いです。

改めまして、このたびのご厚意に心より感謝申し上げますとともに、貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

3年生 学年職員一同

感想文 昭和学院小学校 3年生 A子さん

私は今回の授業を受けてとても感動しました。なぜならまついいさんとウパムちゃんのきずながつながっているように見えたからです。たとえばCOMEとまついいさんが言った時。ウパムは少し迷ったけれどもじき通りに行動をしました。その時、なんてすばらしいきずななんだろうと思いました。そしてウパム等のもうどう犬が飲食店や、飛行機にはいることや乗る事できるということを始めて知りました。今回のじゅぎょうはとてもよかったです。今回はありがとうございました。

## ◇ごあいさつ◇

盲導犬を普及させる会 会長 森 俊士

この1年、体力・気力等の萎えを感じ、盲導犬を普及させる会の活動が思うようにできなくなりましたので盲導犬を普及させる会の会長を退く決意をしました。これまで四半世紀続けてきた盲導犬の普及活動をどなたに託そうか悩んで組織内で話し合いを続けてきましたが、自分がやりますと手を挙げる方がいませんでした。そこで組織の解散までも考えて関連機関に解散手続きなどを相談をしていた時に、当会の発足時からのアドバイザーで盲導犬ユーザーの松井進様にお話をしましたところ、盲導犬を普及させる会が無くなるのは残念なので引き受けますとご返事を頂きました。普及させる会の役員からも会長が松井様でしたらサポートしますとのことでしたので次期会長をお願いいたしました。松井様は全盲ですが目の不自由な方のための図書を普及させるために全国の図書館に盲導犬と一緒に出張を重ね、千葉県立西部図書館で働きながら盲導犬に関する図書を6冊も出版している(代表作:絵本「盲導犬アンドリューの一日」)優秀な現役の千葉県職員です。お忙しい中、会長を引き受けさせていただきましたので感謝すると共に今後の活動に関し、相談しながらやっていけたらと思っています。

## ●第27回総会開催案内

## 1. 総会日程並びに会場

開催日時 2025年4月13日(日) 9時~12時  
開催場所 松戸市民劇場(松戸市本町11-6) 第1会議室

総会当日主席出来ない方でご意見のある方は電話またはFAXで事務局までご連絡ください。欠席の方はすべての議題に委任頂いたものとして決議させていただきます。

## 2. 2024年活動報告

- ① 小学校での盲導犬講演(2カ所)
- ② 県内身体障害者補助犬のサポート
- ③ 身体障害者補助犬訓練所のサポート
- ④ 身体障害者補助犬交流会

## 3. 2025年主な行事予定

2/25	昭和学院小学校盲導犬授業
2/25	監査会・役員会 常盤平ココス
3/3	ニュースレター編集会議
3/23	ニュースレター発送作業(松戸市民劇場)
4/13	総会(松戸市民劇場)
11月	身体障害者補助犬交流会 学校盲導犬授業

## 盲導犬使用希望者募集

## 令和6年度決算

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	5,207,096	活動費	147,066
京葉銀行定期預金	2,032,881	学校講演等講演料	9,000
京葉銀行普通預金	32,154	交流会経費	118,066
郵便貯金	3,141,555	諸会費・寄付金	20,000
手持ち現金	506		
利息	653	事務局運営費	318,555
京葉銀行定期預金	651	ホームページ運営費	34,320
京葉銀行普通預金	2	倉庫保管料	30,000
		事務局費	113,292
会費	126,000	通信費	118,690
個人会員	56,000	消耗品費	7,100
賛助会員	70,000	支払手数料	11,253
		旅費交通費	600
寄付金他	422,770	保険料	3,300
寄付	39,000	小計	465,621
協賛金	40,000		
募金箱	251,270	次年度繰越金(盲導犬導入資金を含む)	5,290,898
グッズ販売		京葉銀行定期預金	2,033,532
参加費	57,500	京葉銀行普通預金	69,798
講演料	35,000	郵便貯金	3,173,342
		手持ち現金	14,226
合計	5,756,519	合計	5,756,519

盲導犬を普及させる会の会長になります！

松井 進

私が盲導犬と一緒に歩き始めたのは1993年2月からです。早いものでもう30年以上が経過しました。そして盲導犬を普及させる会が発足したのが、2000年5月ですから、会の活動に関わって四半世紀が経とうとしています。今まで3人の会長の皆様のリーダーシップのもと、

- ①小中学校や高校訪問しての盲導犬への理解促進のための講演と、視覚障がいガイドヘルパー体験
- ②盲導犬の飲食店やホテル、タクシー等の利用拒否をなくすためのステッカー貼付活動
- ③バーベキュー交流会を通して、盲導犬使用者や視覚障がい者、一般的な参加者との交流や、食事のサポート方法を体験し理解を深める事業

- ④盲導犬体験歩行や、視覚障がい理解とガイドヘルパー体験を行なながら、盲導犬使用希望者を発掘する活動
- ⑤盲導犬チャリティーコンサートを開催し、音楽を通じて盲導犬への理解やガイドヘルパー体験、盲導犬使用者や介助犬使用者の体験談を聞く事業

特に④の「盲導犬体験歩行」や、⑤の「盲導犬チャリティーコンサート」は、行政の協力や沢山のボランティアの皆様のご支援をいただき、代表的な活動でした。しかしコロナ禍で開催が困難となり、その後は再開できずにいます。今後は必ず原点に帰り、

- ①盲導犬への理解や視覚障がい者について知りたいための広報を充実させるためのホームページやYouTube配信
- ②現在盲導犬を実際に使用しているユーザーへのドックフードやダスター（洋服）等の支援
- ③希望する学校を募集し、盲導犬の仕事や視覚障がい者のサポート方法を体験してもらうための話の授業

以上三つの活動を徐々に行っていきたいと考えています。

現在盲導犬を普及させる会は、①会員の減少とそれに伴う予算の減少　②実際に活動をしてくださるボランティアの方の減少　③実際に活動に参加してくださる盲導犬使用者の減少と、まさに日本が直面している人手不足と予算不足の状態にあり、活動を持続し継承していくのが困難な状態にあります。

私も会長を引き受けさせていただくにあたり、まだ現役でフルタイムで働いていることから、なかなか思ったような活動は難しい状況です。そのため、ホームページの作成やYouTube配信、ニュースレターの作成等、技能を持つ外部の人たちの支援を募集しつつ、持続可能な活動を模索していきたいと考えています。そのためには今までご寄付いただいたお金も活用させていただきながら、時代に即した活動を模索してまいりたいと思います。

当事者である私には、健常者の皆様であれば当たり前にできることであっても、正直難しいことが沢山あります。しかし多くの皆様の支えや協力があれば、きっとできることがあるのではと信じています。今後会員の皆様をはじめ、スタッフやボランティアの皆様にもご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、今後とも皆様の変わらぬご支援をどうかよろしくお願ひ申し上げます。

そして私自身も、傍らに常に寄り添ってくれる盲導犬の支援も受けながら、自分でできることを精一杯努力してまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

### 盲導犬ユーザー飯島カオリさんからの情報です。

視覚障がい者支援センター千葉で教養講座「ユーボイスブライント」をおしえてもらっていました。ユニボイスブライントというソフトで印刷物にある音声コードを読み取ると自治体からの情報や現在地からの避難場所までのルートを音声と振動で道案内をしてくれます。詳しくはネットで「ユニボイスブライント」を調べてください



こんにちは！使用者の西澤陽一郎です。8月10日、8年間共に過ごした相棒・介助犬ラッキーが引退し、新たなパートナー「はっち」との生活がスタートしました！ 実は、はっちは私にとって3頭目の介助犬。次の子を迎えるため、1年前から準備を開始しました。2024年4月からの合同訓練は、仕事終わりの19時半から1時間ずつ。ラッキーの引退が近づくにつれ、まるでカウントダウンのようで、多忙な毎日にヘトヘトでした。そんな中、ついに「はっち」との出会い！ 黒ラブの女の子と聞いていましたが、これまで男の子ばかりだったのでドキドキ。「かわいい！ 小さい！ 黒光り！」と興奮するも、手を伸ばすと…スッと避けられました。「え、嫌われてる…？」とショックを受けつつ、信頼関係づくりをスタート。訓練は週2～3回、合計40日以上。焦る気持ちを抑えながら、はっちの性格を知り、一歩ずつ関係を築いてきました。ラッキーの引退日が決まり、お疲れ様会を盛大に開催！ そして、はっちは晴れて介助犬デビューを果たしました。ちょっとビビリだけど元気いっぱい！ 食いしん坊で寂しがり屋な、はっち。しかも、アスリート並みの力持ち！ 車いすを引く力強さには毎回驚かされます。これから一緒にたくさんお出かけして、たくさんの思い出を作ります！ 3頭目とはいえ、新しいパートナーとの生活は毎回新鮮で、学びの連続です。初心を忘れず、家族とはっちと笑顔あふれる毎日を過ごしていきたいです。

# 第17回身体障害者補助犬交流会

2024年11月4日、松戸市21世紀の森アウトドアセンターにて千葉県内外の盲導犬や介助犬、視覚障害の方々やボランティアが集まり、BBQ「盲導犬の歌」合唱や盆踊りなどを楽しみながら、補助犬ユーザーや視覚障害の方々からのお話があり補助犬の受入や目の不自由な方の対応等の啓発活動を行いました。



## 2024年度協力者名簿

<賛助会員>剣持英子、安藤じゅん子、京成ホテルミラマーレ、今村正、春野亜津子、

渡新工業(株)、イワブチ(株)<寄付金>片倉悦子、道端久美子、中村明雄、

八代大三郎・八千代、丹澤明子、田沼香代子、吉田仁、上野京子、

<協賛金>中西淑江、高橋清江、セキハウス(株)

<募金箱>Café de kaori、五井動物病院、どんぐり動物病院、

まる動物病院、小金原動物クリニック、森俊士、東京軒、おさんぽ動物病院、

<講演料>高木第二小学校、昭和学院小学